

## 会 議 記 録 (1)

会議名称	第1回北本市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画策定委員会
開会及び閉会日時	平成29年8月22日(火) 午後1時30分～午後3時15分
開催場所	北本市役所 3-E会議室
出席者名	保科寧子委員、中村聡明委員、阿部和正委員、荻野義信委員、 岩崎雄一委員、川島裕代委員、関口 明委員、清宮尚也委員、 原田和弥委員、服部百合子委員、青山研悦委員、金網幾代委員、 石井寿美子委員 現王園孝昭北本市長
欠席委員(者)氏名	遠井美智子委員、横田清委員
事務局職員職氏名	高齢介護課長 関口 智明、課長補佐 平山 茂 高齢者福祉係長 長島 俊介、介護係長 小松 政毅
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 あいさつ</li> <li>4 委員紹介</li> <li>5 正副委員長の選出</li> <li>6 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 北本市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画の概要</li> <li>(2) 地域包括ケアシステムについて</li> <li>(3) 日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について</li> <li>(4) 北本市の介護保険事業の現状及び課題について</li> <li>(5) その他</li> </ol> </li> <li>7 閉会</li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・委員名簿</li> <li>・設置規程</li> <li>・北本市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の策定に向けて</li> <li>・地域包括ケアシステムについて</li> <li>・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査結果について</li> <li>・介護保険の運営状況について</li> <li>・北本市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画策定委員会スケジュール(案)</li> </ul>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
高齢介護課長	1 開会
	2 委嘱状交付
現王園市長	3 あいさつ
	4 委員紹介 各委員及び事務局による自己紹介
現王園市長	5 正副委員長の選出 皆様の御承認をいただき、暫時、議長を務めさせていただきます。 事務局から正副委員長の選出についての説明がありましたが、「委員の互選により定める」こととなっております。初めに、委員長の選出について立候補、あるいは推薦がございましたら、お願いいたします。
岩崎委員	委員長には埼玉県立大学の保科寧子委員を推薦します。
現王園市長	ただいま、委員長に保科寧子委員をとの意見がありました。いかがでしょうか。  (承認)
現王園市長	続きまして副委員長の選出について、立候補、あるいは推薦がございましたら、お願いいたします。
服部委員	桶川北本伊奈地区医師会の中村聡明委員を推薦します。
現王園市長	ただいま、副委員長に中村聡明委員をとの意見がありました。いかがでしょうか。  (承認)
	(保科委員長・中村副委員長によるあいさつ)
現王園市長	正副委員長が決定いたしましたので、議長の任を解かせていただき、以後の議事は委員長にお願いいたします。
事務局	ここで、会議の公開について、御説明いたします。本会議は個人情報を扱うものではないと、事務局として判断していますが、北本市では、情報公開条例第21条により、「委員会等会議は公開を原則とする。」また、附属機関等の会議の公開に関する規則第2条により、「公開又は非公開の決定は、附属機関等の長が当該会議に諮って行う。」こととしております。 つきましては、委員長から会議公開・非公開の決定をお諮りいただきたいと存じます。

会 議 記 録

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	事務局から会議の公開についての説明がありました。お諮りいたします。本委員会の会議は、「公開」とすることによろしいでしょうか。  (了承)
	6 議事
事務局	(1) 北本市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画の概要資料に基づいて説明
保科委員長	何かご意見、ご質問はありますか。
川島委員	議題1の資料のP2介護保険施設の創設ですが、一般の施設で看取りなどができる施設はできないのでしょうか。前述のことは、施設それぞれの考え方で決まってしまうので、市は何かしらの働きかけを行ってほしいと思います。
川島委員	一般の施設をターミナルケアが可能な施設に変更することは不可能なのではないでしょうか。
事務局	国の方針で介護報酬での加算という形では推進はしています。
川島委員	現行の施設に対してはそれぞれの施設に市の意向として働きかけをしてほしいです。そうしてもらえるとありがたいと思っております。
中村副委員長	看取りをしてほしいということですか。
川島委員	そうです。看取りまで行うターミナルケアが可能な施設がもっと増えてほしいという意見です。施設で看取りをしてもらえるとありがたいということです。
中村副委員長	看取りをするとすると、医師の確保が必要になってきます。施設の体制面で厳しいと思います。
事務局	(2) 地域包括ケアシステムについて資料に基づいて説明
保科委員長	何かご意見、ご質問はありますか。
金網委員	議題2の資料のP2に社会資源を増やすとありますが、どのようなことでしょうか。
事務局	地域での活動やNPOなどの活動を増やしていくということです。

会 議 記 録

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
岩崎委員	議題2の資料のP5に「共助」や「互助」が示されたものがありますが、これは委員会で議論をするためのものですか。それとも国からの指針ですか。
事務局	国の指針です。
川島委員	地域包括ケアシステムでいつぐらいから「共助」「互助」と呼ばれはじめたのでしょうか。
事務局	平成22年より研究会の報告書が作成されており、議論は進めています。その中で、「共助」や「互助」の部分を整備するという結論に至っています。
事務局	(3) 日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について 資料に基づいて説明
保科委員長	何かご意見、ご質問はありますか。
川島委員	アンケート報告書のP119に介護離職に関する質問がありますが、離職がゼロになるように対応を考えるべきです。
岩崎委員	P8の圏域の設定ですが、各計画で圏域のズレがあるが今後の新しい計画でそれはどのようにしていくのでしょうか。
事務局	急な圏域の変更はできないので、当面はこちらを採用します。
清宮委員	介護保険以外のサービスをどれくらい把握していますか。
事務局	シルバー人材センターや社協でのサービス、地域のサロンなどのサービスが主にあります。
金網委員	今回のアンケートの設問や選択肢にはありませんでしたが、高齢者にとって「便秘」は重病につながる大きなことです。今後、何かしらの機会に前述のことを踏まえたアンケートを行ってほしいと思います。
事務局	今回の「日常生活圏域ニーズ調査」と「在宅介護実態調査」は国から示されているものです。先ほどのご意見は今後の参考意見にさせていただきます。
事務局	(4) 北本市の介護保険事業の現状及び課題について 資料に基づいて説明
保科委員長	何かご意見、ご質問はありますか。  (意見なし)

